

留学レポート ver.2

トリア大学（ドイツ）

法文学部 岸上泰斗

こんにちは、岸上です。トリアは、初雪も降り、気温も一桁前半で非常に寒いです。二回目のレポートは、私が行ってきたコブレンツとドイツのクリスマスについて話したいと思います。

コブレンツ（Koblenz）はトリアから電車で一時間半ほど揺られた場所にある少し大きな町です。この町はヨーロッパの六か国で流れるライン川とモーゼル川の合流地点であり、水上交通の要所であり、その合流地点はドイツェスエック（Deutsches Eck）呼ばれ観光名所になっています。右の写真は私が11月にコブレンツへと行った時の写真です。残念ながら天気が悪かったので少し暗い雰囲気となってしまいました



が晴れた日に行くともっときれいに見えると思います。そして、ドイツェスエックの後ろ側にはヴィルヘルム1世の騎馬像が立っています。高さは10数メートルあり、台座部分に上るとこの写真のような眺めが広がっています。また、この近くのロープウェイからはエーレンブライトシュタイン城塞（Festung Ehrenbreitstein）に上ることができ、そこからはコブレンツの町を一望できます。

次にドイツのクリスマス（Weinachten）についてです。日本ではクリスマスは恋人と過ごす日ですが、ドイツでは家族と一緒に過ごす日です。ちなみに、ドイツでは25日は待っていてイエスの降臨を待つ期間であり、サンタクロースが家に来るのは6日だそうです。ドイツでは11月の末から様々なイベントが催され、有名なクリスマスマーケットも始まります。グリューワインやシュトレン、クリスマスピラミッドなど伝統的なものをはじめ様々な物が売られています。右の写真はコブレンツのクリスマスマーケットで撮ったものです。このように多くの町の広場でクリスマスマーケットが開かれ賑わっています。

